

会 議 録

会議の名称及び会議の回	令和8年度 第2回飯田市上下水道事業運営審議会
開催日時	令和8年5月14日（木） 午後1時30分から午後2時29分まで
開催場所	飯田市役所 A棟2階 第2委員会室
出席委員氏名	原優、角田憲正、菅沼文秀、木下容子、西村よし子、上沼和則、鋤柄富男、大澤幸子、矢澤由美子
欠席委員氏名	羽場義人、小平節美
傍聴者	6人
出席事務局職員氏名	井田上下水道局長、加藤経営管理課長、柳澤水道課長、幾島下水道課長、竹村下水浄化センター所長、筒井経営管理課長補佐兼上水道経理係長、熊谷水道課長補佐兼浄水施設係長、塩澤水道課長補佐兼上水道整備係長、大島下水道経理係長、鳴澤料金係長、久保田経営管理課長補佐兼庶務係長
会議の概要	以下のとおり

「敬称略とする」

1 開 会

(久保田経営管理課長補佐兼庶務係長)

ただいまから、令和8年度第2回飯田市上下水道事業運営審議会を開催する。議長が選任されるまでの間、私が進行する。

2 会議の成立

(久保田庶務係長)

本日の欠席委員だが、羽場委員、1人から欠席の届があった。まだ小平委員が到着していないが、飯田市上下水道事業運営審議会条例第6条の規定により、会議の成立には委員11人の過半数である6人以上の出席が必要である。ただいま、出席委員は9人であり、会は成立している。

3 局長挨拶

(井田上下水道局長)

本日理事者が所用で出席がかなわなかったので、代って水道局長井田が挨拶をさせていただく。この審議会は、今それぞれ状況が3月23日の水道料金の諮問をして以降、3回目の審議会となる。その間、社会の情勢、特に中東の情勢により、様々な原油の供給で影響が出ている。とりわけナフサ由来の原料が非常に話題になっておる。日本の企業もこの対策として、食品会社ではパッケージの色の変更や、製品の一部販売停止など、企業もいろいろ考えているように思う。私達も公営企業としてこういった情勢を十分に注視し、経営をしていきたいと思う。そんな中で、今回水道料金の提案をさせていただいたが、4年間の水道料金ということで、日々変わる社会状況の中、これからも敏感に把握しながら運営してまいりたいと考えておる。

前回までの審議会で議論いただいた中では、諮問の大きな柱である水道料金の改定水準、それと改定時期については、諮問させていただいた内容を踏まえ、皆様に一定の理解をいただいたと感じておる。誠にありがとうございます。今回は、それらに意見を付してということでしたので、本日は、この附帯意見について議論いただければと思う。

忌憚ない意見をいただき、取りまとめていただければと思うので、本日はよろしくお願ひしたい。実のある審議会になるよう引き続きご協力よろしくお願ひする。本日はどうかよろしくお願ひしたい。

4 会長挨拶

(鋤柄会長)

本日はお忙しい中、令和8年度第2回の審議会ご参集いただき誠にありがとうございます。先ほど

井田局長からもあったが、前回までに一定の理解をする中で、方向性が見えてきた。最終的にどういう形で附帯意見を出すのか、どういう形の文章にするのかということをはまらまらめていきたい。皆さんの忌憚ない意見を頂戴しながらまらまらめていきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。

5 公表用会議録において委員氏名を公開することの同意について

(鋤柄会長)

事務局から説明されたい。

(加藤経営管理課長)

本会議の発言の要旨の公表用会議録への記載については、記載する内容についての発言をした委員の確認を得て行くものとする。

ただし、発言した委員の氏名については、会議に出席した委員全員の同意が得られた場合に限り記載するものとしているので、本日の会議録における発言委員の氏名の公表について同意いただけるか伺う。

(鋤柄会長)

ただ今説明があった氏名の会議録への記載についていかがか。

(委員各位)

異議なし。

(鋤柄会長)

賛同いただいた。会議の内容の公開にあたっては、発言された委員の氏名も併せて公開することとする。

6 協議事項

(1) 水道料金の改定について

(鋤柄会長)

前回皆様にご審議いただき、改定率は18%、改定時期は令和9年4月1日ということで確認ができた。その際に附帯意見についてさらに検討が必要ではないかという意見をいただき、今日はその点を中心に協議を進めたいと思う。

それでは、事務局から資料についての説明をお願いしたい。

(加藤経営管理課長)

水道料金の改定について、これまでの経過と答申書のイメージ等について説明。

(鋤柄会長)

ただいま事務局よりの資料について説明があったが、ご質問、ご意見等があるか。

(委員各位)

意見なし

(鋤柄会長)

それでは、ここに答申書の案が示されておるが、項目を確認する。

1 答申内容、(1) 改定率、(2) 改定時期。この答申内容はこれでよろしいか。

(委員各位)

異議なし。

(鋤柄会長)

よろしいということで確認した。

2 答申理由・経過、経緯についてはいかがか。項目はそこに示されておるが、これがそのまま文章になるわけではないので、こういう文章、こういうものは必ず載せたいという意見があれば出していただきたい。

まず答申理由はこういう形で載せることについて問題はないか。

(委員各位)

異議なし。

(鋤柄会長)

それではその中身について確認したい。今回検討する中でいろいろな意見が出され、これは仕方ないという意見も含め、ここに出されているということである。4つのポツにそれぞれ出ている。給水量が減るということ。これは将来的に給水量が減るということ。それから、前回の策定の経営戦略では成り立たなくなっているということ。それから24年間の長期にわたっての運営について示したということ。それから今の社会情勢が非常に先行き不透明な状況にあり、将来の世代には負担を残したくないという意見の中で発生したという経過である。

はい、菅沼委員、お願いしたい。

(菅沼委員)

一通り見た。概ね網羅されていると思う。もちろん、このポツで出すわけではなく、答申理由は文章として出すので、こういう表現にはならないと思うが、内容的にはこれを盛り込んでいただいてよろしいと思う。ただ特に、私たちも18%というとても高い率を致し方ないということで、答申するので、その部分については、是非とももう少し盛り込むというか、表現が難しいが、そこがよくわかるように、特に市長に対して答申するので、苦渋の選択だったことを市長にわかるように答申書に盛り込んでいただきたいと思う。

内容的にはこの四つの項目でよろしいかと思う。

(鋤柄会長)

はい、ありがとうございました。

他に皆さんのご意見いかがか。

(委員各位)

意見なし。

(鋤柄会長)

それでは、この内容をもとに原案を作ってまいりたいと思うので、そういう形でよろしくお願ひしたい。

それでは続きまして、3 附帯意見。附帯意見についてはどうするかということだが、先ほどの資料の3番に、皆さんご意見から抜粋したものが載っておる。これに、いやまだこんな意見もあるということがあれば、出していただきたい。一つ一つ確認したい。

「○前回改定時の際に次期改定水準の見直しとして示された9%が結果的に18%になったが、水需要の減少や物価高騰による維持管理費用の増額を踏まえればこの改定率は致し方ない。」

附帯意見の表現として正しいかどうか。私は、これは先ほど経過の方になるような気がするが、意見というよりは、そここのところはどうか。

(木下委員)

先ほども菅沼委員が言われたように、私の気持ちとしてはここが一番上の丸のところの改定率は「致し方がない」というだけでは、まだ伝わらない部分があるかと思う。本当に苦渋の選択だということをしつかりと書き込んでいただくとありがたいと思う。

(鋤柄会長)

ありがとうございました。それは附帯意見というよりは、どっちかというところの理由・経過。

(木下委員)

附帯意見としても出ますよね。

(鋤柄会長)

附帯意見としてこれは意見であるかどうか微妙なところだと思うが、どうであろうか。

(菅沼委員)

発言しても良いか。

答申の様式とすると、今の一番上の丸はその答申の理由だとか経過のところへ盛り込んでもらうのが、形とするといいいのかなと思う。附帯意見は何々されたいという文章になるので、「されたい」にふさわしい項目を選んでいただければと思う。

(鋤柄会長)

ありがとうございました。今、菅沼委員の方から意見が出たこの一番上の丸に関しては、答申理由経過の方で表現するという形でよろしいか。

(委員各位)

異議なし。

(鋤柄会長)

それでは皆さんの了解をいただいたので、一番上の丸は、答申理由経過に移すということで確認した。

「○近年の物価高騰は異常であり、その影響分を水道事業だけで賄うことには無理がある。必要な支援や財源対策に対する国等への要望も検討してほしい。」

これについてはいかがか。国への要望は当然大事なことだと思う。24年あるので、これからもまた新しいものがあるかもしれない。そういうことを踏まえて書くのが大事だと私は思うが、皆さんのご意見を頂戴したい。

(原委員)

やはり市民の方にも今後相応の負担をお願いしていく形になるので、国や市の方へも要望を出す、またある程度の支援をしていただくという形を見せた方が良いと思う。見せかけという意味ではないが、この要望を強調して、国や市も負担してもらうという表現が良いのではないか。

(鋤柄会長)

ありがとうございました。そういう形で要望事項として持っていくことに関して、皆さんよろしいか。

(委員各位)

異議なし。

(鋤柄会長)

ではこの2番目に関しては、そういう形で進めてまいりたい。

「○飯田市として水道事業に対する何らかの支援策を講じてほしい。」

これは似ているところがある次の、

「○低所得者への負担軽減策を検討してほしい。」

これについて皆さんのご意見いかがか。

(菅沼委員)

この部分については私が発言したが、表現とするとすごく難しい。水道事業というのは基本的に、受益者負担が原則なので、基本的な考え方として水道事業に対する支援策を受けられるのか甚だ疑問である。低所得者の負担軽減を検討というのは市の福祉施策なので、どう表現していいか、水道局として何か考えがあるか。

(井田局長)

私達は水道事業として、水道局を運営している立場である。菅沼委員のおっしゃる通り、水道局は水道料金で賄うという原則がある。何らかの支援策というのはよそから財源をということである

し、低所得者への負担軽減策は福祉的な要素がある。水道事業の運営で、こういった意見で取り組むという話であれば、私達はしっかりそのことを心に受けとめ運営していくと、はっきりお答えできるが、これらを附帯意見として扱うのが審議会としての結論であるとするならば、私達はこれを受けて、そのように市長にお伝えするというにとどまる。ただ皆様の附帯意見なので、私達は今そういう立場であるということだけお伝えさせていただく。

(加藤経営管理課長)

具体的にこれをこうしてということになると難しくなってくるが、ただそういった何らかのという意見があったので、そこをどのくらいのバランス感で表現するのかは私どもとしても悩ましいところである。どこまで言えるかということであるが、支援をしてほしいという方向性の意見はあったので、それをどの程度ここに生かしたらいいか考えるところである。あまり具体的だと、こちらもお答えができない。水道事業として、いえる範囲に限られる中でお伝えするようになってしまいう部分ではないかと認識しておる。

(鋤柄会長)

ありがとうございます。ただいま水道局の方から説明があった。菅沼委員からの説明もあった。いずれにしてもこの審議会として、水道局に答申するのであれば具体的な内容になるが、市長へ答申する場合は、皆さん、一市民の考え方としてこういうことはしてほしいという気持ちではないかと察する。水道局に何をしてくれということ、今言えるわけではないが、この世界情勢の中でこの厳しい状況を何とかして欲しいという我々の思い、審議会の思いを市長に伝えるということは大事なことなので、それをまた文章を考えながら決めるという形でよろしいか。

(委員各位)

異議なし。

(鋤柄会長)

これはぜひ載せたいと思うので、そういうことでよろしくお願ひいたしたい。

「○厳しい中においても将来を見据えて、経費の削減についての努力を重ねてほしい。」

これはいかがか。今は逆に経費削減というより上昇を抑えるという方が、合っているのかもしれない。非常に難しい言葉だが、これは長いスパンの中では当然お願ひしなければならないことと感じている。何か補足の意見はないか。

(菅沼委員)

審議の中で、経費の節減の話の中に人件費の話があった。ただ人件費など細かい経費を盛り込むのは、附帯意見としてあまりふさわしくないが、やはり一番大きいのは人件費になると思う。おそらく人勧も今年上がってくると思うので、予想通りの人件費で収まるかどうかわからない。ぜひ人員増ということはぜひ慎重に検討していただきたい。ただそれは盛り込むのは適切でないので、そういう意見があったということ、ぜひ首長に対して伝えていただきたいと思う。

(鋤柄会長)

ありがとうございます。局長。

(井田局長)

ありがとうございます。ここにそういった人件費等が盛り込まれなくても、今発言のあったところはしっかりお伝えしたいと思うのでよろしくお願ひしたい。

(加藤経営管理課長)

この内容について私も少し悩んで書いたので、少しお話をさせていただく。菅沼委員が言われたことは「将来を見据え」という中に含ませていただいております。今若い人たちの給料もどんどん上がっていき、将来的に見たときに負担になっていくということ踏まえた上で、そういったニュアンスをここに少し入れさせていただいたが、その辺をもう少し考えて、文案の方は考えてみたいと思うのでよろしくお願ひしたい。

(鋤柄会長)

この文面は載せる方向でよろしいか。

(委員各位)

異議なし。

(鋤柄会長)

それでは今の経費削減については、載せていくという方向でいきたいと思う。

「○健全な水道事業経営につながる事業形態（官民連携等）の情報収集に努めてほしい。」

これは今、世の中でも出てきている。「積極的に」なのか「可能なのか」ということも含めて検討を進めていくことが大事だと思うので、情報収集に努めてほしいということについては、載せていくという方向でよろしいか。

(委員各位)

異議なし。

(鋤柄会長)

はいありがとうございます。

「○改定までの期間を有効に活用し、市民への周知や理解に努めてほしい。」

これは答申を6月にしたとして、来年の4月1日改定まで時間があるので、これだけの大がかりな改定に関して、出来るだけ多くの市民にわかっていただけるような周知を、いろいろな形で進めていただきたいというお願いだと思うが、これは大事なことかと思う。ですので、これはこういう形でよろしいか。

(委員各位)

異議なし。

(鋤柄会長)

ありがとうございます。

「○飯田市における水需要の拡大に結びつく積極的な施策の検討を進めてほしい。」

これは木下議員の発言であった。

(木下委員)

これは私の意見だが、水道の利用量が、人口が少なくなることによって落ち込むということも将来的にあるかと思う。それを解消できるように、積極的に政策の検討をお願いして、使う方たちを増やす、使う企業を増やすということで提案をさせていただいた。ぜひ内容や文章的なことも含めて検討いただいて、載せていただけるとありがたい。

(鋤柄会長)

ありがとうございました。これについては局側の方から何かあるか。

(加藤経営管理課長)

こちらにつきまして、木下委員の方から会議録の方には具体的に大量に水を使う企業さんが来ていただけると良いよねというお話があった。ですがなかなか企業の皆さんも節水意識が高く、井戸を使うというようなケースなどがあり、全てが水需要の拡大に繋がってはこないというところがあったので、ここは具体的なことは載せず、思いとすれば水需要の拡大といったところなので、このような書き方にさせていただいておる。よろしくお願ひしたい。

(鋤柄会長)

ありがとうございました。今そこにある主な意見の内容について、皆さんに確認をさせていただ

いた。これ以外に、附帯意見としてどうしても入れて欲しいという意見があるか。

(委員各位)
意見なし

(鋤柄会長)

よろしいか。それでは確認させていただく。

答申内容については、(1)(2)の2点。答申理由・経過については、ここのポツのある4点を中心に文章にまとめて作る。附帯意見については、今確認したが、1番目は附帯意見ではないということで、2番目から表現は少し変えるところはあるかもしれないが、基本的には載せていくということでよろしいか。

(委員各位)
異議なし。

(鋤柄会長)

ありがとうございます。皆さんに確認をしていただいたので、そういう形にしていきたいと思う。今後の進め方ということだが、これは事務局の方で説明していただくとありがたい。

(加藤経営管理課長)

先ほどの資料の1枚目の裏面。今回審議会の意見をいただいたが、まずはあくまでも要素、内容あるいは文言こういった言葉みたいなところを断片的にいただいたので、これをどのように文章として作っていくかというのは、会長さんと相談しながら文書にまとめてまいりたいと思っておる。

それにつきましては、皆様方には郵送という形になるかと思うが、まとめたものを事前に確認いただき、意見をいただいてまとめていけたらよろしいかと、思っておる。そうしたものを次回の審議会のときに最終的に確認をさせていただき、答申書案から答申書といったものに決定をさせていただきたい。それができますれば、市長の方に答申書を提出といった流れにさせていただきたい。

(鋤柄会長)

ありがとうございました。今説明していただいたが、ただいまの皆さんの意見を中心に、改めまして事務局と協議して、原案を作る。その原案に沿って皆さんの最終的な意見を頂戴するのは、次回の審議会ということになり、そこで承認を得られれば、後に市長に答申するという形になる。それでよろしいか。

(委員各位)
異議なし。

(鋤柄会長)

それではお願いしたい。

一応これで大事な答申については全部決まったわけだが、皆さん、これだけは言っとかなければということがあろうかと思う。ですから、皆さんから一言ずつ意見を頂戴したい。

(原委員)

いろいろな意見を伺って、私も勉強になった。まず、一般の方もそうだと思うが基本的には理解はしてない。特に独立採算制の機関であるということ、私も認識がなかったので、どうして水道だけこういうふうになるのかというのがあったが、その独立採算制ということでこういった値上がりをしていかないといけないというようなことで、だいぶ理解が深まりましたので、一般の方にも、声掛けで、独立採算という制度になっているということを知っていただければというような感想を持った。いろいろな理由があるが、施設もかなり老朽化していることを非常に感じたので、その点からいくと、今の諸物価高騰を考えると数%の値上げでは足りないだろうというような感想は持つ。立場としては値上げに関する審議ですので、もう少し反対的な意見もあるかとも思ったが、これだけ人口の減少等々いろんなことを考えると、結果的にはやむなしという感想を持ったのは事実なので、そういった点を申し添える。

(角田委員)

特にはないが、私自身がこの上下水道事業に対する知識が浅いことから、皆さんに議論していただけるような意見等が出せなかったのが残念である。また、いろいろ資料を読み勉強させていただいたというところでこれから活かればと思う。

(菅沼委員)

一番気になったのは、水道事業の独立採算で、もうこれは近年の物価上昇などで、その制度自体が限界に来ているのではないかと思う。あまりにも異常な物価上昇、これから下がることはおそくないだろう。この制度については、限界が近づいていることを見据え、ぜひいろいろな施策の展開を図り、進めていってほしいと思う。

(西村委員)

私も特にはないが、市民への周知や理解を深めるということで、広報とかホームページで知らせてほしいと思う。それと、上水道下水道の歴史を若い方は知らないと思う。飯田市の下水道がここまで一般に整ったのは、本当にここ30年ぐらいではないか。若い方は有るのが当たり前だと思っているけれど、私はこちらに住むようになったとき、下水道がないということに驚いた。こういう山間地で下水道を整えること、そして水道がきちんと使えることも素晴らしいことで、皆さんに知らせたらいいのかなと思った。

(上沼委員)

私も今回初めて参加をさせていただいた。今、市民の皆さんもまた値上げまた値上げで、いろいろなものが全て上がっているの、ぜひ今日出たようないろいろな工夫をしていただき、市の方でもいろいろ対策等を考えながら、少しでも負担が少なくなるような方法を検討していただきたい。

(大澤委員)

私も特別これということはないが、ただ9%で見通してきたものが18%になったのが、とてもびっくりしたということと、それからこれだけ物価高騰ということで、値上げの理由の中に材料費にお金がかかってしまったということを知ったときに、驚いた。単純に工事を発注するときに、その会社に何年でこれをやってくれと発注したら、それに使う資材等は、契約した時点の単価で計算するものと思っていたので、これが毎年毎年上がっていくということはどういうことなのか、どのように各業者に発注をかけたのか疑問に思っていたが、こういう大きな事業なので、私の単純な考えは通用しないということをつくづく思った。ですがどこかを改善していくということになり、この配管を工事するときには、これだけの値段で押さえてやってくださいという形で発注するのが妥当ではないかと考えた。今、私が恐ろしいと思ったのは、9年度で値上げし4年たったら18%が、その次は何%になるのか考えたときに、いや、これでは若い人たちにここに住めとは言えなくなる。むしろもっといいところに行きなさい、水道料金も安いところに行きなさいと拍車をかけていくのではないのかと思った。でも、今回の18%という大幅な値上げは、先のことを考えて、これ以上市民のみんなに負担をかけないよう思い切って18%という形なのだと理解をしていきたいと思う。

(矢澤委員)

途中からの参加だったので、本当にわからないことばかりで、水道料金が独立採算制だということも、この会議に来て初めて知った。いろいろなものが値上がりしている中で、施設の建物の修繕とか改築等があると思うが、それまで水道料金で賄うということが、とても無理なことだと思うので、それはまた違う形の新しい何か考え方とか発想があるといいなと思った。それから、値上げがするということになると、市民はやはりすごく反発してくると思うが、市民から反発の意見を出したら、市の方も何か折り合いをつけるような形で、何とかうまくやっていっていただければと思う。

(木下委員)

私自身は、独立採算制というのは国の方から決めてきていることなので、なかなか難しいところだろうなと思っている。そういう中で、日々水の安全を考えながら、努力をされておられる水道局の職員の皆さん方に、本当に心から敬意を表するところである。「水」と簡単に言ってしまうが、水がなかったら本当に命に関わることである。そういった意味で、もっともっと水の大切さを市民の皆さん方に理解をしていただくことが大事だと思う。飯田の水は美味しいです。

(鋤柄会長)

皆様、いろんな貴重なご意見ありがとうございました。

私は聞いていて、大澤委員が言ったこともその通りだと思ったし、それから今、矢澤委員が言った「これでやっていけるのか」ということもその通りで、先ほど菅沼委員が言ったように「今までのやり方でできるのだろうか」ということを含めて、これからまた検討しなければいけない時期に入っているのかと考えた。これは水道局だけではなくて、飯田市全体として考えていく必要があるのではないかと、そういう意味でも周知、皆さんに知っていただくことは大事なことでないかと今、皆さんの意見も聞いて改めて感じた。本当にありがとうございました。

7 報告事項

なし

8 その他

(鋤柄会長)

他に何かあったら受けたいが。よろしいか。

(委員各位)

意見なし

(鋤柄会長)

それでは市側からお願いしたい。

(井田局長)

本日、貴重なご意見ご議論ありがとうございました。

答申案を調整するにあたって、今日出た意見を踏まえ取りまとめて、会長さんと相談しながらまとめてまいりたいと思う。次回確認していただくが、答申案の2番で、これはあくまでも項目出しで文章になっておらない。皆様が市長に対して述べる文章に整えたいと思う。先ほどから思いが伝わってまいりましたので、そこを表現して会長さんと相談しながら作ってまいりたい。本日、附帯意見ということで貴重な意見を出していただき、大変ありがとうございました。また引き続きさらに審議会委員を開催させていただくが、よろしくお願いしたい。

(鋤柄会長)

ありがとうございました。6月の日程についてはどうか。

(加藤経営管理課長)

今回の日程ですが、こちらの方でお示しをさせていただくと、6月になってしまうが、6月15日の午前中少し早い時間になるかもしれないが、いかがか。

(鋤柄会長)

6月15日9時頃になるかと思うが、皆さんの都合がつけば何とか入れていただきたい。

(委員各位)

意見なし

(鋤柄会長)

また改めて原案も皆さんの方に事前配付しますので、そのときに通知を出すので、よろしくお願ひしたい。

(加藤経営管理課長)

ただいま6月15日を軸にということで了解が得られましたので、追加で報告をさせていただく。前回話をさせていただいたが、皆様の任期が、実は5月23日までが通常2年間の任期ということであった。ただ審議中になり、今の委員の皆さんで審議を進めていただきたいということもあり、条例を

改正しまして、市長が必要と認めた場合にはその任期を審議が終わるまでの間は延長できると変わっておる。今日の資料にも入っておるので、またご覧いただきたいと思うが、6月15日の時点では、ここまではお願いをしたいということで、市長の方から決裁を取り、皆様の任期延長を、次回の審議会の通知のタイミングに合わせてお願いして参りたいと思うので、次回は任期後ではありますが、何卒ご協力をお願いしたいと思うのでよろしくをお願いしたい。

9 閉会

(鋤柄会長)

それでは、長時間にわたりありがとうございました。これをもとに原案を作って進めていきたいと思う。次回よろしくをお願いしたい。本日ありがとうございました。

以上で、令和8年度第2回飯田市上下水道事業運営審議会を閉会とさせていただきます。